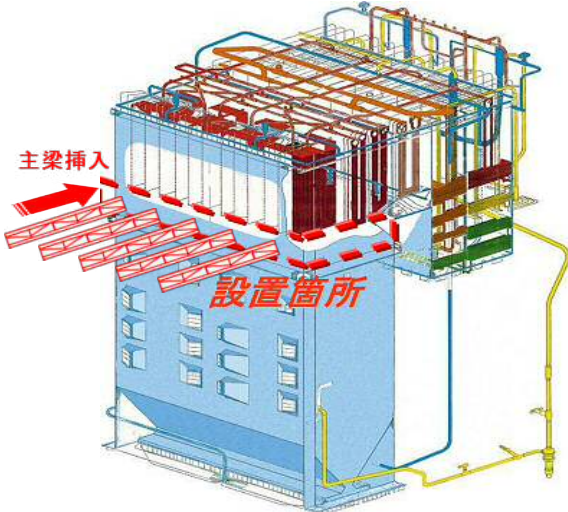


## 今夏の安定供給に向けた取り組みについて

### 1. 供給面の取り組み例

#### ○発電所の取り組み

今夏の供給力確保に向け、発電所の補修時期調整や出力増対応について取り組むとともに、信頼性向上に向け、点検強化や設備改造などに取り組んでいます。

<b>重負荷期での補修回避</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要が高くなる7月中旬～8月末の定期点検等を可能な限り回避するよう調整の上、各ユニットの補修・点検を確実に進めていきます。</li> </ul>
<b>ガスタービン吸気冷却装置運転</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外気を吸入・圧縮して、燃焼によるエネルギーで発電するガスタービンは、夏季、気温上昇による空気密度（空気質量）の減少で出力が低下するため、ガスタービン吸気冷却装置の運転により出力低下を抑え、供給力を積み増す計画としています。（水島1号、柳井1号系列 [H25年設置済]）</li> <li>《吸気冷却装置運転による出力低下抑制》</li> <li>増出力見込み：（7月）3.4万kW、（8月）3.9万kW</li> </ul>
<b>過負荷運転</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需給逼迫時に限定した緊急避難的な供給力として、一時的に定格出力以上で短時間運転する過負荷運転を行うことにより、5.1万kWを確保する計画としています。</li> <li>※過負荷運転は技術基準の適合が認められたものについて行います。</li> </ul>
<b>重負荷期前点検の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>供給力確保に万全を期すため、重負荷期前には各ユニットのリスク評価を行い必要な点検・補修を行います。</li> <li>期間中は運転員パトロールに加え、設備管理の視点から保守担当員によるパトロールも実施し、設備の状態把握強化を図っていきます。</li> </ul>
<b>三隅1号機 信頼性向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三隅1号機（定格出力100万kW）では、現在実施中の定期点検工事（H27.3.28～7.15予定）にあわせて、法令に基づく点検・修理に加え、過去のトラブル事例を踏まえ、ボイラー内の水を加熱する配管の一部を更新しています。</li> <li>また、ボイラー内でトラブルが発生した際、補修作業の取掛りが一日でも早くなるよう、ボイラー内側の中間部から足場仮設が可能となる構造への改造工事を実施しています。（従来はトラブル発生後、ボイラー底部から足場を設置しており、組立・解体に長期間を要していました）</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【ボイラー炉内足場装置（イメージ図）】</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 20px;"> <p>ボイラー外側の中間部（底部から約50m付近）に、「炉内足場装置」を常設。</p> <p>ボイラー上部でトラブルが発生した際に、「炉内足場装置」に主梁を挿入することで、中間部から足場を組み上げることが可能となり、復旧に要する期間を短縮可能。</p> </div> </div>

## ○自家発余剰電力の調達

当社サービス区域内の自家発電設備を有するお客さまにご協力いただき、11.7万kWの自家発余剰電力を調達します。

## 2. 需要面の取り組み例

今夏も沖縄を除く各地域において、国から数値目標を伴わない節電要請（定着節電分の確実な実施）がなされており、当社としても以下のような取り組みを進めてまいります。

### ○節電に向けたPR活動

定着節電の着実な実施に向け、当社では、お客さま訪問活動をはじめ、マス媒体やホームページ等を活用した節電意識の喚起や上手な電気の使い方の周知等に積極的に取り組んでいます。

<PR活動の主な取り組み>
・節電に関するチラシの全戸配付（実施中）
・訪問等の機会を活用した節電への協力依頼（実施中）
・テレビ等各種媒体を活用した広告（実施中）
・当社ホームページによる周知（実施中）
・でんき予報の拡充 [7/1~]
・当社事業所での懸垂幕等の掲示 [7/1~]



### ○契約メニューの活用による需要抑制

#### <需給調整契約の活用>

需給調整契約には、当社の系統事故時や需給逼迫時に、お客さまに電力使用の調整や遮断を行っていただくことで電力需給の安定化を図る「随時調整契約」や、夏季の重負荷期に休業日設定や電力使用の計画的な調整を行っていただくことにより、電力需給の安定化と電力供給設備の効率的な利用を図る「計画調整契約」などがあります。

今夏も昨夏と同様、お客さまのご協力をいただけるよう、取り組んでいます。

### ○節電アグリゲータ<sup>\*1</sup>との協業による需要抑制の実施

節電アグリゲータを活用した需要抑制について取り組みます。

これは、当社と節電アグリゲータが契約を締結し、節電アグリゲータは当社の依頼に応じて、自社が管理しているBEMS<sup>\*2</sup>機器等を導入しているお客さまの中から、需給逼迫時に節電していただけるお客さまを募集し、節電量のとりまとめを行うものです。

※1：節電アグリゲータ

BEMS 機器等のエネルギーを管理する機器を設置して、お客さまのエネルギー使用状況を管理し、節電を促進する事業者。

【契約先事象者】

- ・株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス
- ・株式会社ヴェリア・ラボラトリーズ

※2：BEMS (Building And Energy Management System)

ビル等で使用する電力消費量の「見える化」を図り、空調・照明等の制御やデマンドピークを抑制・制御する機能等を有するエネルギー管理システム。

以 上